広　報
拓北・あいの里
題字　伊藤　昭

第　83　号
発行日　令和７年３月21日
発　　行　拓北・あいの里連合町内会
北区あいの里1条6丁目　拓北・あいの里まちづくりセンター
TEL　778－2355
発行責任者　拓北・あいの里連合町内会会長
長　尾　由紀子
編集責任者　拓北・あいの里連合町内会広報部長
三　谷　英　男

令和七年 拓北・あいの里新年交礼会

拓北・あいの里連合町内会主催の新年交礼会が、1月8日(水)午後4時から札幌サンプラザで開催されました。

当日は、国会・道議会・市議会の各議員、佐藤北区長、石井市民部長、佐藤区社協事務局長をはじめ、地区の町内会及び各関係機関・団体、学校、企業等から84名の方々が参加されました。

長尾会長は開会の挨拶で、「人と緑が調和するやさしく支え合うまち　拓北・あいの里」を念頭に、北区11番目に出来た我が連合町内会も高齢化が進んでおり、子供から高齢者まで安全・安心に暮らせる福祉と防災・防犯を重点としたまちづくりを目指し、また、来年は連町が創立30周年の節目を迎えることから、一層の地域の協力連携を呼び掛けました。

来賓を代表して佐藤北区長からは、「福祉のまち」として、子どもからお年寄りまで、障がいの有無に関わらず、全ての方が安心して生活できるまちを目指し、連町・社協・民児協が一体となって様々な活動に取り組まれていることを心強く思っているとご挨拶をいただきました。

佐藤区社協事務局長は乾杯のご挨拶で、認知症対応事例検討会、生活支援ボランティア、福祉除雪協力事業等の取組に触れ、感謝の言葉を述べられました。

参加された皆様は新年の挨拶を交えながら、交歓の時間を過ごしました。

予定の2時間はあっという間に過ぎ、ご挨拶に立たれた近藤連町相談役は長尾会長にエールを送るとともに、「拓北・あいの里の中点（・）は拓北とあいの里が互いに仲良く手を携える意味です」と、ご自身の解釈をユーモア混じりに披露され、会場が和やかな笑いに包まれる中、乾杯で会を締めました。

佐藤北区長のご挨拶

拓北・あいの里地区　令和６年度
主な活動

5月
・連合町内会総会
・高等支援学校との花植え
・拓北地域町内会連絡協議会総会
・あいの里地区町内会長連絡協議会総会
6月
・福祉除雪意見交換会
・避難所運営研修（拓北小）
・第1回単位町内会長会議
・あいあい祭
・あいの里商工振興祭り
7月
・拓北盆まつり
・避難所運営研修（西小）
・北海道医療大学訪問要望書提出
・樹林維持管理計画地域説明会
・福祉除雪説明会
・みんなで歩こう会
・あいの里北公園下枝払い等ボランティア作業
・第5ブロック防災訓練
8月
・防犯講習会
・第4ブロック防災訓練
・文化フェスタ
・第3ブロック防災訓練
・ふれあいピクニック
9月
・北部三連町総会
・第2回単位町内会長会議
・除雪連絡協議会
・第1・2ブロック防災訓練
・認知症対応事例検討会
10月
・第3回単位町内会長会議
11月
・ひまわり連合自治会新年交礼会
・連町新年交礼会
・たくあいキャンドルナイト
令和7年
1月
2月

単位町内会長会議

◆第二回（11月16日（土））

・36町内会から40名参加

最初に、田中まちづくりセンター所長から「数字でみる拓北・あいの里」と題し、開発の歴史や人口の推移、年齢構成等の話がありました。

【長尾会長から】

８月の北海道医療大学本部訪問で、大学病院移転後の病院や地域包括センターの機能の維持・継続の要望を伝えた旨の報告

【連町30周年記念事業】

木村副会長から事業内容及び収支案についての説明

【各部の報告・連絡】

総務部

①除雪連絡協議会
②認知症対応事例検討会
③ボランティア事業開始

広報部

①編集委員会及び活動計画
②83号発行スケジュール

社会福祉部

①みんなで歩こう会の報告

環境部

①樹林整備事業実施状況
②拓北地区公園ベンチ塗装

防災部

①各地区防災訓練活動報告
②連合町内会防災組織

防犯交通部

①ひまわり隊定期総会
②交通安全旗配布予定

厚生部

①ぽっぴぃウォーキング
②がん予防道民大会等

【まちづくりセンターから】

①令和７年度国政調査
②加入世帯数調査依頼

◆第三回（2月15日（土））

・35町内会から39名参加

【長尾会長から】

民生委員・児童委員の一斉改選に向け委員候補選出協力依頼

ケア施設町内会の紹介

【連町30周年記念事業】

木村副会長から協賛依頼文書案の説明

【各部の報告・連絡】

総務部

①欠員役員後任紹介
②除排雪意見・要望依頼
③７年度会議等日程案

広報部

①83号発行予定日変更

社会福祉部

①認知症事例検討会報告

環境部

①樹林整備事業実施状況
及び来年度事業計画

防災部

①各地区防災訓練活動報告

防犯交通部

①地区の犯罪発生状況

厚生部

①北海道がん対策基金
フォーラム等活動報告

今回の会議では、30周年記念事業について説明しました。事業内容や協賛等への建設的な意見もあり、有意義な会議となりました。

後任連町役員のご紹介

昨年11月一身上の都合で退任の菊池監事の後任に安藤昭一氏（拓北はまなす町内会）が就任しました。

新任民生委員・児童委員

昨年12月２日付で二名の方が新しく民生委員・児童委員の委嘱を受けました。

・伊澤真奈美さん
あいの里２条１丁目担当

・新覚智栄子さん
あいの里２条６丁目３番
ライフケア３―６担当

「北海道医療大学」移転の対応について

北海道医療大学の北広島市への移転報道を受け、高齢化が進んでいるこの地区において、医療大学病院や地域包括ケアセンターの移転は、地域に及ぼす影響は計り知れないことから、連合町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員・児童委員協議会会長の連名で、移転の再考と丁寧な説明を求める要望書を大学理事長あてに提出しました。

昨年２月の臨時総会において大学から移転の背景などの説明があり、７月の単町会長会議では、あいの里の医療大学病院と地域包括ケアセンターについて、具体的な内容は決定していないが、できる限り地域の医療環境が損なわれないように検討を進めており、２０２６年３月までに決定する予定との説明がありました。

連合町内会では、今までの説明や少子化など大学を取り巻く状況を踏まえ、大学の移転はやむを得ないものの、大学病院や地域包括ケアセンターについては、この地域にとって必要不可欠な施設であることから、８月20日には、両施設の機能の維持・継続を求める三会長連名の要望書を北海道医療大学の鈴木理事長に直接手交し、地域の現状と両施設の必要性を訴えるとともに、これらの施設に勤務する地域住民への配慮もお願いしました。理事長からは、地域の要望に沿ったかたちでしっかりと検討して参りたいとの話がありました。

連合町内会としては、随時、大学と意見交換を行いながら、病院や地域包括センターの機能の維持・継続について強く要望していきます。

創立30周年記念を全地域的なものに

拓北・あいの里連合町内会は平成８年篠路連町から分離独立して以来、令和８年で30周年を迎えます。また地区社会福祉協議会をはじめ多くの団体が設立されました。そこで連町ではこれら諸団体と共に節目の30周年を祝い、さらなる一歩を踏みだすために記念事業の準備を進めています。

・実行委員会を結成

昨年７月から準備委員会で話し合いを進め、９月には総務企画、式典祝賀会、記念誌の３つの部会で構成する実行委員会を結成しました。

記念事業として次の事業を行います。

・記念誌の発刊

10周年の時、記念誌「愛　みつめて輝く」を発刊しましたがそれをさらに進化させ、名称を「愛みつめて翔く（はばたく）」とし、現在その編集作業を進めています。

この記念誌は、拓北・あいの里地区のこれまでの歩み（歴史）を振り返るとともに今後の発展を願って記録に残しておくことが大切なのではないかとの思いから発刊するものです。

・式典と祝賀会

令和８年１月７日、札幌サンプラザを会場に行います。式典では今までに地域の発展に貢献された方々に表彰状を贈呈し、祝賀会では地域で活動している団体等によるアトラクションを計画しています。

・協賛金のお願い

これらの事業を行うため２月15日単位町内会長会議において協賛金をお願いいたしました。さらに地域の各種団体、企業や事業所などからの協力もお願いし、全地域的な事業として成功させたいと考えています。

多くの皆様のご協力をお願いいたします。

「広報　拓北・あいの里」創刊号

長尾連合町内会会長 自治振興功労者 表彰受賞

昨年11月12日（火）、札幌パークホテルにて「令和６年度さっぽろ市民表彰式」が行われ、長尾由紀子連合町内会会長が自治振興功労者表彰を受賞されました。これは長年にわたり、地域の自治振興に大きく貢献された方の功績をたたえたもので、北区からは３名が受賞されました。

秋元市長から長尾会長に対し「住民の福祉向上と地域の発展に尽くされた功績はまことに顕著であります」と表彰状が贈呈されました。

秋元市長（右）佐藤北区長（左）と受賞の記念撮影

各種表彰の受賞者をご紹介

この地区から、様々な活動を通じて地域に貢献された方々が表彰されていますのでご紹介いたします。

※紙面の都合上、一部の方のご紹介となります。

◆札幌市安全で安心なまちづくり功労者表彰

柴田　登　さん
（防犯ひまわり隊）

◆交通安全功労者知事表彰

市川　満　さん
（交通安全実践会）

◆交通安全功労者市長表彰

河合　利昭　さん
（交通安全実践会）

◆札幌市交通安全運動推進委員会会長表彰

高田　豊一　さん
（交通安全実践会）

◆北海道社会貢献賞

眞所　幸司　さん
（地区民児協）

◆民生委員・児童委員永年勤続表彰（10年）

佐藤　一則　さん
米田眞理子　さん
山口　竜哉　さん
遠藤　裕子　さん

認知症対応事例検討会の開催

11月30日（土）に連町、社協、民児協の三者共催で78名の出席により、実施しました。

当別町地域包括支援センター長の長井巻子氏を講師としてお招きし、「認知症の本人と共に暮らしやすい地域をつくろう」と題して、認知症は誰にでも起こりうる病気という観点から、長井氏の現場での経験や両親の介護の経験等を交えた話を伺いました。当事者を中心に据えた個々人の対応や地域ぐるみの支援の大切さを教えていただきました。

その後、10のグループに分かれそれぞれ徘徊、迷惑行為、幻視等の５つの対応ケースによるグループ討議が行われ、対象の方の状況や背景に思いを巡らせ、対応方法や普段の付き合い、地域としての支援の取り組み、支援機関へのつなぎ等について意見交換を行い、そのまとめを各グループのファシリテーターが発表しました。

長井氏からは熱心な意見交換への感想、認知症が当たり前になってくる高齢社会にあって、その対応に正解はなく、具体的な対応事例を積み重ね、共有していくことが大切なことと参加の皆様の支援への取り組みへの期待と励ましの言葉がありました。

【今後の展開】

① 毎年度継続して開催
② 研修、事例検討、当事者又はご家族の体験報告等を組み合せた内容
③ 計画推進の枠組みの検討（民児協より体験事例を収集）

グループ討議の様子

あいの里の樹木を安全・安心なものに

（環境部樹木検討委員会）

ボランティアによる「あいの里北公園」下枝払い・ベンチ塗装

９月18日（水）に、北区土木センター職員３名を含む総勢19名が参加して作業を行いました。

下枝払いは長い取手がついた鋸を使っての作業です。高さ３ｍの枝を切るのは腕がだるくなりますが、日ごろしない作業なのか、目がキラキラしていました。払った枝は４ｔトラック約２台分で、公園全体が明るくなりました。

ベンチ塗装は塗り絵感覚（？）で楽しく作業ができた様子です。

下枝払いの様子

今年度の樹林整備計画　施業結果

今年度は、８箇所の作業を行いました。

①茨戸福移通り西側
②茨戸福移通り東側
③あいの里東緑道線
④あいの里北公園前緑道
⑤あいの里せせらぎ緑道
⑥あいの里緑道
⑦鉄道沿中央緑地
⑧鉄度沿西緑地（補植）

施業後の様子

来年度の樹林整備計画　施業予定内容

来年度は当初計画で緊急度が高かったエリアの最終整備も含めて、次の箇所を予定しています。

①茨戸福移通り（中間部）
②あいの里循環通り
③その他
（教育大前・あいの里緑道・鉄道林補植）

各ブロックで防災訓練
災害から命を守るために!!

令和６年度も全てのブロックで「防災訓練」が行われました。以下、開催順に訓練の概要についてご紹介します。

◆第５ブロック（９／29）

あいの里東小学校において、８町内会・ケア施設町内会・協働福祉会等の協力のもと、総勢55名で実施されました。

今回は、この地域で想定される災害や被害を、札幌市等が公開している防災ハンドブック・ハザードマップ等から収集した情報を用いた座学がメインでした。

食料品のストック方法や被災時の近隣との互助の在り方などの認識合わせを行い、学校内の災害発生時備え（備蓄品、設備の状況等）を見学し、最後はＡＥＤの操作訓練を行いました。

映像を見入る参加者

◆第４ブロック（10／６）

鴻城小学校を会場に８町内会102名の参加で実施しました。開催にあたっては、昨年５月から各町内会の代表者及び地域内の有志による防災検討会を毎月１回開き、今年度においては、①トイレ対策②ペット対策③障がい者対応の３項目を検討し、次の事を確認しました。

①現存設備での課題、水洗トイレ使用不可時での対応周知。②同行避難時の飼育スペース確保。地域内におけるペットの種別と数量の把握。飼い主側の知識としつけ。③福祉スペース確保のみでなく、パニック防止の配慮。

本年度の避難訓練では、①トイレ対策に的を絞り参加者に実践してもらい、在宅避難においても必要となる簡易トイレの使用法を習得して頂きました。

簡易トイレ設置訓練の様子

◆第３ブロック（10／20）

訓練は、基幹避難所のあいの里西小学校で１００名超の参加者で行われました。

ダンボールベッド組立訓練の様子

訓練に先立ち、会場設営の役員等は防災備蓄庫、緊急貯水槽等を見学しました。

参加者は町内会の一時避難所に集まり、９時迄に西小学校体育館に全員集合。

避難所開設宣言の後、様々な自然災害への備えをクイズ形式の動画で学びました。

参加された皆さんは６つのグループに分かれ、心肺蘇生とＡＥＤによる普通救命訓練、ダンボールベッドの組立訓練、札幌市防災協会の防災グッズ紹介展示を順番に回りました。

非常食の試食時には、消防の方からこの地区の防災状況、防災と福祉を一体として考えることの大切さ、小学校の防災の備え、日頃の防火の備えと心構えについて説明を受けました。

◆第１・２ブロック（11／30）

拓北ひまわり会館を会場に、災害時の救助部隊である自衛隊の協力のもと、15町内会から１１０名が参加して行われました。

今回は、災害救助のための大型車両に乗車したり、災害時に必要なドローンや油圧カッターの操作説明、骨折被害者に対する応急措置やＡＥＤを使った心肺蘇生訓練等を行いました。また、胆振東部地震の際に設置した簡易トイレや入浴施設等の説明もありました。

この日は、気温が低く屋外の展示車両見学には厳しい環境でしたが、子どもたちを含め参加者は真剣に説明を聞いていました。

心肺蘇生訓練の様子

今後も、ひまわり連合自治会防災会を中心に活動を継続し、災害時に冷静に対処できる地域でありたいと願っています。

2024年 みんなで歩こう会

快晴のもと、全員元気に完歩！

９月7日(土)、快晴・そよ風というウォーキング日和のなかで、「みんなで歩こう会」を開催し、最高年齢90歳、合計51名の参加者により、あいの里公園、あいの里緑道、せせらぎ緑道沿いを巡る約５㎞の周回コースを2時間で歩きました。

開会式では、長尾連合町内会会長の挨拶の後、北区保健センターの保健師さんからウォーキングを楽しむための注意事項の説明を受け、入念な準備体操をして地区センターを出発しました。

元気にスタート！

途中、休憩を取りながら、緑道沿いの住宅の庭に咲き乱れるお花を眺めたり、住んでいる人の憩いの場となっている公園を散策したり、日頃の運動不足解消とストレス発散のため、各々の年齢と体力に合ったスピードで歩き、全員無事にゴールし、完歩証を受けることができました。

あいの里公園を歩く参加者

今後も「みんなで歩こう会」は、同様のコースで開催する予定であり、歩くことに自信のない方も十分楽しむことができますので、多数の参加をお待ちしています。

特殊詐欺被害防止講習会

10月1日（火）拓北・あいの里地区センターにおいて特殊詐欺被害防止講習会を開催しました。

今回の講習会は、地域住民が特殊詐欺にあわないために、リーダー的役割を果たしている、町内会、自治会の役員を対象に開催いたしました。

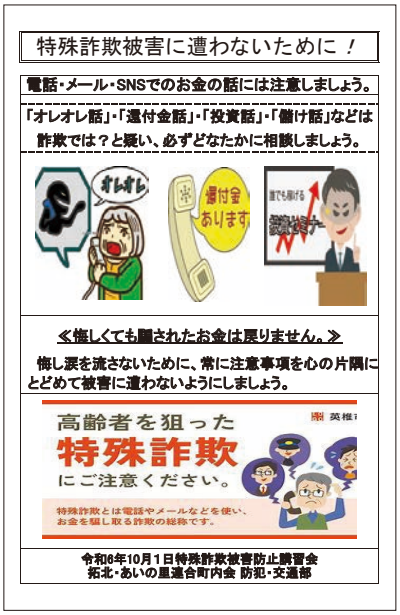
25名が参加し、特殊詐欺に関して知っておくべき事項について学びました。

講師として、北警察署生活安全課の担当職員をお招きして、特殊詐欺の手口、被害防止策、相談窓口等について事例や映像を交えて分かりやすく講演していただきました。

また当日、連合町内会防犯交通部からは、これまで得ていた情報を基に作成した「特殊詐欺被害に遭わないために！」と題した注意情報を参加者に配布し、地域住民に対する注意喚起をお願いしました。

講習会の様子

今後は、地域住民を対象とした、講習会の開催についても、検討したいと考えております。



特殊詐欺注意情報

厚生部

今年度より女性部から厚生部へ名称を変更し、間もなく一年が経とうとしています。活動内容は今までと変わらず、健康面に関わる様々な活動に携わっています。

９月に行われた「ぽっぴぃフェスティバル」は好天の中、血管年齢測定やパネル展示等多くの方に参加していただきました。

10月にはノンフィクション作家梯久美子（かけはしくみこ）先生をお招きし、「アンパンマンが誕生するまで」をテーマにした講演で参加者の関心も高く盛会に終えることができました。

その他に、赤い羽根・日本赤十字等の募金活動にも従事しています。地元のみならず時には全道全国の講演活動にも足を運び、研さんや交流に努めています。

今後もみなさんの健康を見守り、サポートする活動を心がけたいと考えています。

第27回文化フェスタ開催

◆ステージ発表

秋の深まりを見せる10月12日（土）、拓北・あいの里地区センターでは、当センターで活動されているサークルのステージ発表会が開催されました。

始めにサッポロ・インディゴ・ウィンズ（吹奏楽）が弾むようなテンポで澄んだ空を思わせる「ブルースカイ」ほか2曲を演奏し、会場を盛り上げました。

次に登場した太極拳はゆっくりとした動きが体幹の強さを際立たせ、オカリナの演奏は鑑賞者に懐かしい気持ちを抱かせたようです。リフレッシュ体操の軽快な動き、雅な日本舞踊も披露され、尺八とギターのコラボレーション演奏の意外な組み合わせに驚いた方もいらっしゃいました。南国を思わせる衣装が華やかなフラダンス、鉦鼓（かね）の音色が心躍る阿波踊り、タネがわかりそうでわからないマジック、機敏な動きのカンフー、一緒にリズムを取って歌いたくなるゴスペルなど、多彩な演目に観覧者も参加者も楽しんでいました。

ステージ発表の様子

こども縁日の様子

同日、駐車場では、こども縁日も開催し、くじ引き、ヨーヨー釣り、輪投げ、お菓子すくいにたくさんの子どもたちが来場し、大変賑わっていました。

◆作品展示会

10月25日からの3日間は作品展示会が開催され、多くの力作が飾られました。

繊細な輝きを放つ七宝焼き、艶やかな色調の水彩画、さき織で作った帽子やマフラー、子どもたちの真剣さが伝わる書道、サラリーマン川柳を美しい文字で著したペン字、来場者も体験できる白糸刺繍、花や風景を美しく表現した写真、芸術性が高く鑑賞する皆さんが驚かれるちぎり絵などがありました。

会場中央では、テーブル席が用意され、作品をご覧になりながらコーヒーを飲み語り合う憩いの場にもなっていたようです。

作品展示会の様子

学生芸術展

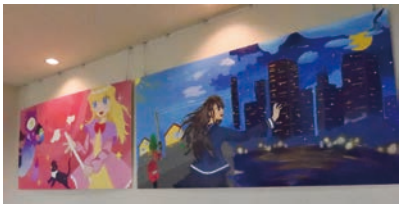
10月25日（金）～11月30日（土）、拓北・あいの里地区センターギャラリーにて学生芸術展を開催しました。

学生芸術展は、例年あいの里高等支援学校・英藍高校・あいの里東中学校・教育大学附属中学校に協力いただき各校の生徒の作品を展示しています。今回からは篠路中学校にも参加していただき、約100作品が集まりました。

各校の生徒が制作した絵画や書道、工作等の作品を一堂に集めて展示し、地域の方々に各校の活動を披露する機会となっています。

展示されたどの作品からも生徒たちの日頃の成果を感じることができ、180cmに及ぶ絵画、大谷翔平や猫の絵画、怒っているようで優しい顔の赤鬼の面、普段使用している文字を絵画のように装飾した一文字アートなど、どれも色彩感覚が豊かな力作ばかりで見応えがありました。

学生芸術展を毎年楽しみにしている方も多く、早くも次年度の作品に期待の声が寄せられています。



第9回たくあいキャンドルナイト開催

1月31日（金）～2月7日（金）、拓北・あいの里地区センターで「たくあいキャンドルナイト」が開催されました。

開催初日にはアイスキャンドルに押し花を貼り付ける体験会を行い、小さな子どもから高齢者まで約30名の方が参加し、参加者同士楽しみながら個性豊かなアイスキャンドルを作って、敷地内に飾りました。

並べられた総数１３０個のアイスキャンドルは暖冬のため透明感が高かったこともあり、いつにも増して押し花が映え、花が生きているかのように美しく、雪景色の中にたくさんの灯りが浮かびあがり、幻想的な風景となりました。

毎年このキャンドルナイトを楽しみにしてる方も多く、日が沈むころにはアイスキャンドルやシマエナガの雪像などを、この冬の思い出として写真に収める方々で会場は大変賑わっていました。

編集後記

☆広報「拓北・あいの里」第83号をお届けします。掲載記事の関係から発行が３週間遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

☆11月・2月の単位町内会長会議において、事務局より連町30周年事業に関わる提案がなされ、会員各位にご理解とご協力をお願いしました。今後も、式典・祝賀会の開催や記念誌の発刊等に向けて諸準備を進めてまいります。

☆広報誌は次年度も年２回の発行を予定しており、編集委員５名が力を合わせ、地域の情報発信に努めてまいります。引き続きご愛読ください。

スペースの関係から「町内会の取り組み・地域探訪」は休載とさせていただきましたのでご了承ください。

■編集委員■
三谷　英男（広報部長）
木村　聡　中野　裕子
田中　斉　吉野　治美

印刷　旭プリント株式会社　電話　〇一一―六六一―四〇四〇